

平成31年3月1日

P T A会報（全日制）

秋田県立本荘高等学校 校長 今井 智幸

### よりよく生き、より幸せになる力

今年も玲瓏祭での保護者によるバザーは活気に溢れ、秋の街頭指導・一声運動では、生徒会の皆さんと一緒に、送迎ルールの下、安心・安全な登下校の向上にご尽力いただきました。保護者の方々の様々な活動は、生徒の将来に必要な多くのことへの気づきや学びを与えてくれたはずです。

文部科学省は、2018年6月、昨年の全国学力・学習状況調査を受けた小中学生の保護者を対象としたアンケートの分析結果を公表しました。無作為に抽出した公立学校の保護者約12万人の分析結果です。学力が高い層は、家庭で子どもの生活習慣の改善や読書の推奨などに取り組んでいる特徴があるほか、「非認知能力」の伸長にも深く関わっていることが分かりました。

「非認知能力」は、学力テストや知能検査など測定可能な「認知能力」に対し、実行力、忍耐力、誠実さ、自己管理能力、リーダーシップ、コミュニケーション力など、数値化するのが難しい能力のことをいいます。ものごとを最後までやり遂げる力や、目標達成のために自らを律し、自己分析できる自己管理能力、異なる考えをもつ他者とコミュニケーションする能力など、非認知能力が高い生徒は、より高い学力だけでなく、よりよく生き、より幸せになる力も身に付けているとされています。

どんな発達段階にあっても鍛えることが可能な「非認知能力」。今後も、学校関係者や地域社会との連携・協働を深めながら、本校の教育活動の充実に努めていく所存です。